

「OSSAJ 3周年フォーラム2007」プログラム

主催: オープンソースソフトウェア協会

(Open Source Software Association of Japan)

- ◆開催日: 2007年2月9日(金) 13:00 - 20:00
- ◆場所: 住友不動産西新宿ホール(Room2 & Room5)
(<http://www.sumitomo-rd.co.jp/building/kaigishitsu/nishishinjyuku-k.html>)
- ◆受付 13:00-13:15 Room2 前にて
- ◆挨拶 13:15-13:30 足立会長
- ◆基調講演 13:30-14:20 東京工科大学 上林 憲行 教授
 - ・講演題目:
ソーシャルセクターパワーとコミュニティリユース
～ネットワーク社会の新しい力～
 - ・講演概要:
不特定多数の人々が、ネットワークを介して自律的に参画し、共通の目標を共有したり問題解決を図るコミュニティリユースやソーシャルセクターの考えが、21世紀の問題解決の主流になるとピータードラッカーなどが指摘されて久しい。
近年、SNSの急激な勃興やWEB 2.0 的な世界におけるロングテールビジネスモデルなどの成功は、こうした潮流が確実に、新しい現実を作り上げていることが証明のように思われる。また、新しいビジネスの主流になってきており経済的な力もあることが証明されてきている。ここでは、コミュニティリユースの考え方が何故、社会問題解決の手段としての有効なのか、ソーシャルセクターが、ビジネスセクターやパブリックセクターと異なる第3の社会セクターとしてどのように社会的な機能を担ってゆくのか、について論考を進める。また、こうした考えの具体的な事例などの紹介、OSSAJの活動がこの立場からどのように位置づけられるかについても考察をする。
- 休憩 14:20-14:30
- ◆セミナー 「OSSビジネスと社会的法的問題の実際」
 - (1)セミナー1 14:30-15:10 東京大学大学院 八田 真行 氏
 - ・講演題目:
 - ・概要:
 - 休憩 15:10-15:30 Coffee Break (Room5)
 - (2)セミナー2 15:30-16:10 NPO 法人 FSIJ 進藤 美希 氏
 - ・講演題目:
インターネット時代のソフトウェアとコンテンツにおける社会的法的問題
ビジネスモデルの視点から: OSSからデジタルメディアまで
 - ・概要:
DRM(Digital Rights Management)は著作権保護のために有用な仕組みとして、DVD、デジタル放送、携帯音楽プレイヤーなど様々な分野で活用されている。しかし、現在、その必要性について、GNU GPLv3 の検討に絡んで様々な議論が起こっている。さらに、コンテンツホルダではなく著作者自身が作品の公開にあつて権利範囲を設定する 試み(クリエイティブコモンズ)も行われている。DRMはソフトウェアビジネス、コンテンツビジネスの発展の上で重要な課題となっているが、どのように取り扱うべきかについての結論は今のところ出ていない。そこで、著作者の創作活動を促進し、著作者 やコンテンツホルダが適正な利益を得ることができ、かつ利用者の権利も守れるような DRM について、ビジネス、技術両面から考察を行う。
 - 休憩 16:10-16:20
- ◆パネルディスカッション 16:20-18:00
 - 司会: 鈴木 重徳(OSSAJ 事務局)
 - パネリスト: 上記講演者
It 記者会 佃 均 氏
OSSAJ 会員数名
- ◆情報交流会 (Room5) 18:15-20:00
- ◆お申込みとお問合わせ : Emai : info@ossaj.org FAX:03-5940-4582

以上

講師紹介(敬称略)

上林 憲行 (かみばやし のりゆき)

略歴:

慶応義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。広島大学工学部助手、富士ゼロックス(株)入社後、主幹研究員 (Research Fellow)、研究所所長等を歴任。山形大学工学部情報科学科教授を経て本学着任。人工知能学会理事、情報処理学会理事、情報処理学会情報メディア研究会幹事・主査、論文誌・会誌編集委員等を歴任。情報処理学会ネットワーク生態学研究 G 主査

八田 真行 (はった まさゆき)

略歴:

1979年生まれ。東京大学経済学部卒。同大学大学院経済学研究科修士課程修了。修士(経済学)。現在同大学院経済学研究科博士課程に在籍。組織論、法と経済学を専攻。趣味としてフリーソフトウェアの開発や関連文書の翻訳に携わる。Debian Project 公式開発者、GNU Project メンバ。OSDN のアドバイザー、スラッシュドット・ジャパン編集者、Open Tech Press 主筆なども務める。雑誌や書籍の執筆、監修多数。

進藤 美希 (しんどう みき)

略歴:

青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科博士課程 DBA プログラム修了。日本の大学院における最初の博士(経営管理)の学位を取得。日本電信電話株式会社を経て、現在、通信系ソフトウェア株式会社勤務。NPO 法人フリーソフトウェアイニシアティブ理事。青山学院大学大学院国際マネジメント研究科非常勤講師(2005~2007年度、科目名:インターネットマーケティング)。ビジネスモデルの設計、インターネット放送、オープンソースソフトウェア等について研究している。情報処理学会、経営情報学会、ビジネスモデル学会、日本商業学会、文化経済学会等に所属。論文に'Real-time Streaming Business Architecture: Utilizing Existing ISP Networks and its Application to Music Concert', 著書に「オープンソースがなぜビジネスになるのか」(共著、毎日コミュニケーションズ)等。